



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年8月6日

上場会社名 福井コンピュータホールディングス株式会社
 コード番号 9790 URL <http://www.fukuicompu.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 蒔野 勝
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 生田 晴来 TEL 0776-53-9200
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月7日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	2,208	7.9	547	17.7	556	16.9	365	22.0
27年3月期第1四半期	2,047	4.6	464	9.5	475	8.8	299	14.7

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 368百万円 (11.6%) 27年3月期第1四半期 330百万円 (25.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	15.90	—
27年3月期第1四半期	13.03	—

※当社は、平成26年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	12,753	9,502	74.5
27年3月期	13,211	9,478	71.7

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 9,502百万円 27年3月期 9,478百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.0	—	15.00	15.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期（予想）	—	0.0	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	4,228	2.1	930	1.8	945	1.2	633	3.6	27.55
通期	8,601	0.0	1,975	2.0	2,005	0.8	1,344	1.3	58.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.2「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期1Q	23,000,000株	27年3月期	23,000,000株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	24,246株	27年3月期	24,246株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期1Q	22,975,754株	27年3月期1Q	22,975,796株

※当社は、平成26年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループ(当社及び連結子会社)における当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高2,208百万円(前年同期比7.9%増)、営業利益547百万円(前年同期比17.7%増)、経常利益556百万円(前年同期比16.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益365百万円(前年同期比22.0%増)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①建築CAD事業

平成27年4月より改正省エネ基準の完全施行により、外皮平均熱貫流率等を評価対象とする断熱等性能等級に改められました。前期より好調だった「温熱環境計算シミュレーション」の需要が引続き好調に推移し、併せてバージョンアップ・オプション追加の商談も多く発生しました。また、4月には住宅営業ツールの「ARCHITREND Modelio」を発売し、中規模ビルダー様を中心に実績を伸ばしております。加えて、前期に取り組みました保守契約の切り替えにより、保守サービス売上が増加しました。

また、4月は統一地方選挙が行われ、報道機関向け出口調査システムの売上を計上しました。この結果、建築CAD事業の売上高は1,258百万円(前年同期比29.2%増)、営業利益は312百万円(前年同期比196.9%増)となりました。

②測量土木CAD事業

測量CADソフトウェアについては、前第1四半期に好調だった既存ソフトウェアのシステムアップ需要が一段落しており、既存売上の落ち込みが前年実績を下回る要因となっております。一方、現況観測の効率化を求めるニーズは依然多く、現場端末「X-FIELD 2016」の導入は大きく伸びました。また、土木CADソフトウェアについては、国交省が推進するCIMへの対応を地場大手建設会社が進めており、CIM対応商品の「TREND-CORE 2015」の導入が進みました。

また、測量土木分野において、急速に普及し始めたドローンや地上型レーザースキャナーより取得された点群データ処理と、土量集計や断面作成など点群データ活用をサポートする「TREND-POINT 2016」の測量会社、土木施工会社への導入も進みました。

この結果、測量土木CAD事業の売上高は949百万円(前年同期比11.5%減)、営業利益は225百万円(前年同期比31.4%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、12,753百万円となり、前連結会計年度末より458百万円減少しました。主な要因は、受取手形及び売掛金の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成27年5月11日の決算短信で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合につい

ては、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,088	5,932
受取手形及び売掛金	1,700	1,322
商品及び製品	42	30
仕掛品	3	2
原材料及び貯蔵品	16	13
繰延税金資産	296	143
その他	278	542
貸倒引当金	△4	△2
流動資産合計	8,422	7,984
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,524	1,504
土地	1,096	1,096
その他(純額)	74	73
有形固定資産合計	2,695	2,674
無形固定資産		
のれん	4	3
その他	22	26
無形固定資産合計	26	29
投資その他の資産		
投資有価証券	1,607	1,612
繰延税金資産	41	35
その他	429	429
貸倒引当金	△11	△12
投資その他の資産合計	2,067	2,065
固定資産合計	4,789	4,769
資産合計	13,211	12,753

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	35	27
未払法人税等	202	40
前受金	1,737	1,693
賞与引当金	285	160
役員賞与引当金	60	15
その他	1,132	1,031
流動負債合計	3,452	2,968
固定負債		
繰延税金負債	276	278
長期未払金	3	3
固定負債合計	280	282
負債合計	3,733	3,250
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,631	1,631
資本剰余金	2,095	2,095
利益剰余金	5,102	5,123
自己株式	△5	△5
株主資本合計	8,824	8,845
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	653	657
その他の包括利益累計額合計	653	657
純資産合計	9,478	9,502
負債純資産合計	13,211	12,753

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)
売上高	2,047	2,208
売上原価	427	449
売上総利益	1,619	1,758
販売費及び一般管理費	1,154	1,211
営業利益	464	547
営業外収益		
受取配当金	6	6
受取保険金	1	0
受取手数料	2	2
その他	1	0
営業外収益合計	11	9
経常利益	475	556
税金等調整前四半期純利益	475	556
法人税、住民税及び事業税	23	32
法人税等調整額	152	158
法人税等合計	176	191
四半期純利益	299	365
親会社株主に帰属する四半期純利益	299	365

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)
四半期純利益	299	365
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	31	3
その他の包括利益合計	31	3
四半期包括利益	330	368
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	330	368
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	建築CAD 事業	測量土木 CAD事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	974	1,072	2,047	—	2,047
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—
計	974	1,072	2,047	—	2,047
セグメント利益	105	328	433	31	464

(注) 1. セグメント利益の調整額31百万円は、グループ会社からの経営管理料等及びグループ管理にかかる費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	建築CAD 事業	測量土木 CAD事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,258	949	2,208	—	2,208
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,258	949	2,208	—	2,208
セグメント利益	312	225	537	9	547

(注) 1. セグメント利益の調整額9百万円は、グループ会社からの経営管理料等及びグループ管理にかかる費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。